



文書伝道部ニュース

5月号

2023.5.18 発行

テーマ聖句 「御言葉を宣べ伝えなさい。折が良くても悪くても励みなさい。とがめ、戒め、励ましなさい。忍耐強く、十分に教えるのです。」 テモテへの第二の手紙 4章 2節

多くの例をあげ警告をくりかえして、イエスは、ユダヤ人が神のみ子をこぼむ結果がどんなものであるかを示された。これらのみことばを通して、キリストはまた、彼をあがない主として受け入れようとしないうちのすべての人々に語りかけておられた。一つひとつの警告は彼らのためである。けがされた宮、不従順な息子、いつわりの農夫、侮べつ的な建築者などは皆一人一人の罪人の経験に反映している。

(『各時代の希望』第65章ふたたびきよめられた宮 文庫版下巻64ページ)

今月の言葉

まだマスク生活が公共の場で行われていますが、これからは新規訪問もやりやすくなっていくことと思います。体調管理や相手に対する心遣いをして活動していきましょう。今月も祈りについての証を取り上げてみました。参考にして下さい。

世界総会からの証 2021年4月30日(金)

ナタナエル・オレゴン牧師(米国ミシガン州)

私たちの教会は、礼拝出席者の9割が65歳以上です。過去に様々な伝道活動を試みてきましたが、最近までほとんど成果は得られませんでした。このままいくと教会が閉鎖されてしまうと誰もが心配するほどでした。私は教会員に、「祈ることに集中してみませんか?」と提案しました。

最初の3ヶ月間は、みんなで祈禱会に集まって祈りを捧げました。神様が私たちの教会を成長させ、長欠者の心に働きかけてくださるように祈りました。また教会員は、積極的に長欠者とつながりを持つと決心しました。さらに教会のための特別な「祈禱週」を計画しました。

教会員の祈りの生活をもっと深めるために、私は『Daring to Ask for More: Divine Keys to Answered Prayer (大胆に求める: 答えられる祈りの秘訣)』という本を配布しました。やがて私たちは、安息日礼拝後の午後にも一緒に祈るようになりました。あるときは「対話の祈り」形式で、またあるときは教会の建物の周りを7周歩きながら祈りました。

「祈禱週」は日曜日から始めて、安息日に終わるように計画し、毎日、朝7時と夜7時に祈りの時間をもち、教会員は自分の都合に合わせてどちらかに参加するようにし、安息日には、礼拝直後に一同で一緒に祈りました。

金曜日の夜には、徹夜で祈禱会を行うこともありました。祈禱会を終えて迎えたある安息日の朝のこと、長老が教会堂に入ると、なんと38人もの来訪者が座っているのを見たのでした。また3人の小さな子どもを持つ若い夫婦が初めて教会を訪問され、一緒に聖書研究をする機会が与えられました。私がこの家族のために祈りはじめると、頭の中に別の名前が何度もよぎって「神様にこの名前はいったい誰ですか?」と尋ねました。すると神様は、以前教会に出席しておられた一人の男性のことを思い出させてくださいました。その方は仕事で忙しく、たまにしか礼拝に出席できない方でしたが、私は彼のためにも祈りはじめることになりました。数週間後、突然その男性が私に電話をかけてきて「教会に出席したい」と言うのです! 次の安息日、彼は本当に教会に戻ってきてくれました。

もう一つ、祈りが答えられたのは、最初の徹夜祈禱会を行った翌日の安息日の出来事でした。礼拝が終わって外に出ると、見かけない初老の隣人と目が合いました。自己紹介をしようと彼に近づいていくと、彼の方から先に話始めました。自分はルーテル派の教会で育ってきたが、今では教会を離れてしまったということでした。私は彼を待たせたまま自分の部屋に戻り、『各時代の争闘』を手にもって彼にプレゼントしました。すると彼は、家族にも読ませたいからあと5冊もらえないかと頼んできたのです!

教会がひとつになって祈り、これまで以上の祈りを捧げるようになったときに、神様が想像もつかない方法で答えてくださったことは本当に素晴らしいことです。個人の生活においても、教会生活においても、祈りはすべての行動の中心になければなりません。祈りは原動力そのものであって、決して補助的なものではないのです。私たちは祈りの生活において、必要最低限以上の祈りをささげなければならないのです。

文書伝道部 次長 池田義生

■『その「宗教」は本物か』販促キャンペーン特典対象者のお知らせ

4月末までの一般販促キャンペーン対象者は矢島禮子さんです。
また、3月の対象者に西濱隆吉さんが抜けておりました。大変失礼いたしました。
お詫びして訂正いたします。

なお、2022年発売以降、2023年4月末までの時点で、文伝者による報告冊数は**1,141冊**となり、
文伝者による配布・販売数は**1,000冊**を達成致しました。皆様の尊いお働きを感謝いたします。

■あかし

西濱隆吉（座間聖書研究会）

（文伝ニュース2月号掲載の）前回の証の続きです。今でもあの日のお寺文書伝道のことを考えると不思議でなりません。お寺まで道案内をしてくださった女性との出会い。その女性が、お寺の墓所に仕事で来ていた石屋さんに頼んで下さり、車で連れて行ってくださったこと。しかし、どこを訪ねても断られ続け、疲れが出てきたところに、帰宅中の数名の小学生との楽しい交わりが与えられ、その後お寺と神社1軒ずつにさらに断られたところで、道端で出会った方にトラクトをお渡ししました。その夜、その方からお電話をいただいたのです。この方に出会うまでの1つ1つが1分でも違っていたら出会うことにならなかったらと思うと、出会った方々、断られ続けた時間、小学生とじゃんけんをして楽しんだ時間、それらすべてが神様に用いられたこととなります。

電話を下された男性にはVOPの入門講座を送り、その後2度訪問しました。現在も月に1～2のペースでハガキに回答、近況その他を書いた報告が届きます。私どももその都度、聖句やメッセージ、近況などを2人で書いたものを出しています。どうか、この方がイエス様と出会い、SDAの信仰を受け入れるように、是非皆様のお祈りに加えてくださるようお願いいたします。

西野友恵（天沼教会）

ポスティングするときに、お部屋の一人ひとりのことをお祈りすること、道行く人のことをお祈りすること、住民の人にどう見られているかを考えてみる、など、学んだことを一緒にポスティングしている教会員の方にお伝えして、その日は働きを始めました。半分くらいやった時に、「お祈りするのはいいですね！教えてもらってよかったです！」と晴れやかなお顔で話されました。神様のために働きたい、と願っている人はスポンジのように学ばれることを目の当たりにしました。

大室登美子（安中集会所）

この度発行された『羅針盤2～神の預言編～』をご紹介してお求めくださった方が、タイトルの大きさ、時の大きさ、行間、字のインクも黒の強さがあって読みやすいから高齢者にプレゼントしたいとのことで、追加で求められました。他にも数名の方がこの本をお求めくださいました。ネットやZOOMで見ることのできない人にとって、ベッドに横になりながらも気楽に読める本です。今世界に起こっている歴史の成就、起こりつつある預言の内容に心を向けてくださる求道者がたくさんおられました。

■月間報告

聖書通信講座申し込み（4月）：1件（2023年累計 4件）

最も販売数の多かった本（4月）

第1位：『人生という舞台が回るとき』（26冊）

■『その「宗教」は本物か』販促キャンペーン特典対象者のお知らせ

4月末までの一般販促キャンペーン対象者は矢島禮子さんです。

また、3月の対象者に西濱隆吉さんが抜けておりました。大変失礼いたしました。

お詫びして訂正いたします。

なお、2022年発売以降、2023年4月末までの時点で、文伝者による報告冊数は**1,141冊**となり、

文伝者による配布・販売数は1,000冊を達成致しました。皆様の尊いお働きを感謝いたします。

■あかし

西濱隆吉（座間聖書研究会）

（文伝ニュース2月号掲載の）前回の証の続きです。今でもあの日のお寺文書伝道のことを考えると不思議でなりません。お寺まで道案内をしてくださった女性との出会い。その女性が、お寺の墓所に仕事で来ていた石屋さんに頼んで下さり、車で連れて行ってくださったこと。しかし、どこを訪ねても断られ続け、疲れが出てきたところに、帰宅中の数名の小学生との楽しい交わりが与えられ、その後お寺と神社1軒ずつにさらに断られたところで、道端で出会った方にトラクトをお渡ししました。その夜、その方からお電話をいただいたのです。この方に出会うまでの1つ1つが1分でも違っていたら出会うことにならなかったらと思うと、出会った方々、断られ続けた時間、小学生とじゃんけんをして楽しんだ時間、それらすべてが神様に用いられたこととなります。

電話を下さった男性にはVOPの入門講座を送り、その後2度訪問しました。現在も月に1～2のペースでハガキに回答、近況その他を書いた報告が届きます。私どももその都度、聖句やメッセージ、近況などを2人で書いたものを出しています。どうか、この方がイエス様と出会い、SDAの信仰を受け入れるように、是非皆様のお祈りに加えてくださるようお願いいたします。

西野友恵（天沼教会）

ポスティングするときに、お部屋の一人ひとりのことをお祈りすること、道行く人のことをお祈りすること、住民の人にどう見られているかを考えてみる、など、学んだことを一緒にポスティングしている教会員の方にお伝えして、その日は働きを始めました。半分くらいやった時に、「お祈りするのはいいですね！教えてもらってよかったです！」と晴れやかなお顔で話されました。神様のために働きたい、と願っている人はスポンジのように学ばれることを目の当たりにしました。

大室登美子（安中集会所）

この度発行された『羅針盤2～神の預言編～』をご紹介しますお求めくださった方が、タイトルの大きさ、時の大きさ、行間、字のインクも黒の強さがあって読みやすいから高齢者にプレゼントしたいとのことで、追加で求められました。他にも数名の方がこの本をお求めくださいました。ネットやZOOMで見ることでできない人にとって、ベッドに横になりながらも気楽に読める本です。今世界に起こっている歴史の成就、起こりつつある預言の内容に心を向けてくださる求道者がたくさんおられました。

■月間報告

聖書通信講座申し込み（4月）

: 1件 （2023年累計 4件）

最も販売数の多かった本 （4月）

第1位 : 『人生という舞台が回るとき』（26冊）

第2位：『希望の羅針盤2～神の預言編～』 (18冊)

第3位：『その「宗教」は本物か』 (12冊)

■祈りのテーマ

- ※日々聖霊を求める祈りを通して個人的リバイバルが与えられますように
- ※新型コロナウイルスの感染拡大が終息しますように
- ※継続した文書伝道者の働きが神様の御心の内に拡大しますように
- ※全国の文書伝道者の働き、またユースラッシュがコロナ禍でも進展していけますように
- ※文書伝道に献身する新しい志願者が与えられますように
- ※福音社の数少ない編集部員の健康が支えられ、出版が継続されますように